

2023 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録

日 時：2023 年 10 月 13 日(金) 17:30~19:20

場 所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館北棟 210 号室（土木工学専攻大会議室）
Zoom によるオンライン

出席者：大東（会長）、森田（東京支部）、仙田（関西支部）、~~小塩（名簿）、中村（しゃち）、~~
~~山下（しゃち）、~~周（しゃち）、館石（教員幹事）、~~趙（留学生）、~~張（女子の会）、
杉野（1 期）、高瀬（2 期）、竹内（3 期）、大澤（4 期）、遠山（5 期）、~~渡辺（6 期）、~~
加藤（7 期）、寺島（8 期）、~~河邑（9 期）、~~石川（10 期）、伊藤（11 期）、~~水野（12 期）、~~
田中（13 期）、磯部（14 期）、向井（15 期・会計監事）、森川（16 期）、織田（17 期）、
岩田（18 期）、~~水谷（19 期）、~~片山（20 期）、後藤（21 期）、加藤（22 期）、中村（23 期）、
中野（24 期）、野田（25 期）、鈴木（26 期）、石川（27 期）、~~加藤（28 期）、~~川崎（29 期）、
荻野（30 期）、石川（31 期）、~~水野（32 期）、~~香川（33 期）、三輪（34 期）、田代（35 期）、
中井（36 期・後援基金）、判治（37 期・幹事長）、中村（38 期）、中村（39 期・副幹事長・
会計）、~~渡邊（40 期）、~~二井内（41 期）、~~宇佐美（42 期）、~~赤根（43 期）、酒井（44 期・
名簿・広報）、~~伊藤（45 期）、~~吉川（46 期・会計）、柿元（47 期）、~~根笹（48 期）、~~
~~渡邊（49 期）、~~豊田（50 期・名簿）、永田（51 期）、~~勝田（52 期）、~~根橋（53 期）、
朝隈（54 期）、~~岩井（55 期）、~~森田（56 期）、~~広瀬（57 期）、~~佐藤（58 期・学生会会長）
~~藤本（58 期）、~~永田（59 期）、~~花田（59 期）、~~山田（4 年幹事）、~~坂上（4 年幹事）~~

敬称略

出席者数 44 名（取り消し線：欠席）

1. 報 告

1. 第 33 回総会報告 (中井) p.007
 - ・ 6/30 に実施した第 33 回総会の報告がなされた。
 - ・ 出席者は現地参加とオンライン参加を含めて 60 名（名誉教授 3 名，正会員 54 名，学生会員 3 名）であった。
 - ・ 総会終了後に懇親会をレストラン花の木で実施した。参加者は 31 名であった。
2. 会費納入状況報告 (中村友) p.012
 - ・ 令和 4 年度の会費納入状況が報告された。
 - ・ 現段階で会費完納となっている 10 期の会員が新たにプレミアム会員へ移行する。
 - ・ 全体の納入率は 43.7%で令和 3 年度より少し増加しているが、納入率の計算式によるみかけ上の増加の可能性もあるため、次年度からは計算式を見直す予定である。
 - ・ 各期の個別の納入状況は幹事にメールにて連絡する。未納者への連絡をお願いしたい。
3. 名簿 No.59 編集経過報告 (酒井) p.013

- ・ 名簿 No.59 号の編集経過報告がなされた。
- ・ 名簿修正依頼後に会員から直接事務局へ住所変更の連絡が来ることがあるが、できるだけ各期幹事で取りまとめていただきたい旨、お願いがあった。なお、10/25 以降の名簿修正情報は来年度の反映となる。名簿の発送は 12 月初旬を予定している。
- ・ CD での名簿配布について、セキュリティ面と利便性を両立する方法を検討したが、(1) 他の PDF リーダもあるが、Windows しか開けない、(2) Adobe Pro や Edge, Google Chrome などのブラウザで開くようにすることは可能であるが、編集や他の形式で保存するなどを防止することができなくなる問題がある、(3) CD 内に Adobe Reader を入れることは技術的には可能であるが、ライセンスの問題に抵触することから、例年通りの形での CD 配布とすることが提案され、承認された。
- ・ 今年度の CD 配布に関しては、次の工夫を試みる点も提案され、承認された。
 - (1) 同封するマニュアルに丁寧な図を組み込むなどして分かりやすく改善する
 - (2) (1)のマニュアルを CD 内にも同封する（紙を紛失したときのために）
 - (3) ブラウザや Adobe Pro ではセキュリティの関係で開けないことを明記する
- ・ 名簿の更新に際して、過去 5 年間で 2 回以上連絡のない期がいくつかある。名簿の性質上、データが古いままではよくないため、更新が滞っている期の幹事に関しては、今年度の名簿編集が終わった段階で会長・幹事長を中心に継続や変更を検討したい。

4. シャち No.64 編集経過報告 (周) p.015

- ・ シャち No.64 の編集経過報告がなされた。
- ・ 特集は「片山先生退職記念」である。募集期間を延長したので、積極的に寄稿いただきたい。
- ・ 表中の同期会報告に記載のある期に誤りがある（例えば、8 期は 50 年會を昨年度報告済みである）ので修正いただきたい旨、お願いがあった。

5. 後援基金報告 (中井) p.017

- ・ 援基金使用ルールの確認の後、会計報告がなされた。
- ・ 支出としては、終身会員資格 3 名分 45,000 円である。

6. 支部活動報告

1) 東京支部 (森田) p.019

- ・ 11/17 に東京支部総会を行う。4 年ぶりの開催である。大東会長、館石教授、中井准教授をお招きし、現時点での参加申込は 85 名程度である。若手に積極的に声がけした結果、若手の参加が少し増える見込みである。

2) 関西支部 (仙田) p.020

- ・ 令和 5 年度は 4 月・8 月・10 月に幹事会を開催し、9/15 に関西支部大会を行った。参加者は 20 名程度であった。同窓会から大東会長、伊藤元会長にお越しいただいた。
- ・ 11 月に関西銀シャチ会を開催予定であるが、若手の方にも参加を呼び掛けたいとのこと。

7. 教室近況報告 (館石, 中井) p.021
- ・ 田代むつみ講師の着任が報告された。また、中村晋一郎准教授が今年6月から来年3月までフランスに長期出張中であることも報告された。
 - ・ 土木教室 B2 学生向けの名大土木卒業生による講演会が12月12日(火)にESホールにて開催されることが報告された。
8. 女子の会活動報告 (張) p.033
- ・ 9/26に第1回懇親会を開催した。参加者は14名(教員:5名, 職員:2名, D2:1名, M2:2名, M1:3名, B3:1名)であった。
 - ・ 第2回懇親会を12月頃に開催予定である。
9. 留学生関連活動報告 (趙 代理:判治) p.022
- ・ 2022年度に発刊されたしゅち No.63を基に Alumni Newsletter No.11を作成し、メール配信したことが報告された。今回はすべての編集を担当者が行ったため、費用はかかっていない。具体的には、しゅちの原稿を DeepL により英訳し、Chat GPT により文法等の校正を行った。
 - ・ 9/27に Farewell・Welcome Party を対面で実施したことが報告された。参加者は51名であった。また、留学生・教員の交流の場として Tea Chat Party も開催する予定である。
 - ・ これまでは Alumni Newsletter の作成を外注しており、約十数万円程度かかっていたが、今年度は、上記のとおり DeepL と Chat GPT を用いて担当者が独自に作成したため費用は0円であった。
 - ・ 次年度も同じように作成したいと考えているが、無料版の DeepL は翻訳できるテキストの文字数に上限があり、また、無料版の ChatGPT は GPT-3.5 のみ使用可能であり、時間制限、会話数制限、速度制限等がある。そのため、より利便性の高い DeepL Pro と ChatGPT Plus を年間購読したいとの提案があり、承認された。なお、DeepL Pro の年間購読料は12,000円(1,000円/月)、ChatGPT Plus の年間購読料は240\$ (約36,000円, 20\$/月)である。
10. 学生会活動報告 (佐藤) p.034
- ・ 6/10に名大祭土木展を出展したことが報告された。土木展ではコンクリート人形作成や各研究室のパネル展示とクイズラリーなどを行った。来場者は80名程度であった。ソフトボール大会は運動場の使用許可が下りず、中止とした。
 - ・ 学生と教員が交流する場として土木系懇親会を10/12に開催した。参加者は60名ほどであり、盛会であった。
 - ・ 3月には卒業記念パーティーを開催する予定である。またあわせて、土木系の卒業アルバムを制作予定であることが報告された。
11. 土木系教室関係の行事实施報告 (判治) p.030
- 1) 国家公務員対策

- ・ 2023 年度の受験状況が説明され、2 名（B4：1 名，M2：1 名）が合格したことが報告された。
- 2) 土木事業の談話会
- ・ コロナ禍前の実施形式に戻し、対面形式で 11 月 3 日(金)に開催することが報告された。また、講演会後に軽食を用意し、簡単な懇親会を実施することも報告された。
- 3) 就職マナー講習会
- ・ 2024 年 1 月上旬で調整予定であることが報告された。

12. その他

- ・ 同窓会を開催した期はしゃちへの開催報告を投稿いただきたいとの依頼があった。

2. 議 事

1. 役員・幹事の変更 (判治) p.001
- ・ 以下の幹事の交代が提案され、承認された。
3 期幹事 青木幹事→竹内氏，16 期幹事 大東幹事→森川氏
2. 2023 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録の確認 (判治) p.002
- ・ 2023 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録が承認された。
3. 会員システムの導入について (中井)
- ・ 2023 年度第 1 回役員会で報告したとおり、アルムネットを導入している名古屋大学工学部電気系同窓会双葉会のヒアリングを行った結果が報告された。
 - ・ 双葉会では 3 社の調査を実施しており、その結果は以下のとおりである。
A 社（アルムネット）：導入費用・年経費は中間，大学同窓会の導入実績は B 社・C 社よりも少ない。電話対応では好印象。
B 社（鏡ヶ池会も以前検討した業者）：セキュリティレベル，導入実績は優位であるが，導入費用が高い。
C 社：導入費用・年経費は最も優位である。関西の導入実績多い。一方，セキュリティレベルがやや劣る印象である。
 - ・ 双葉会がオンライン名簿を導入した後の状況は以下のとおりである。
 - 1) 会員が自身の名簿をいつでも更新できる。
 - 2) 更新後の（最新の）情報をすぐに閲覧できる。
 - 3) 会費納入状況を名簿に反映しているため，会費未納者へ会費納入のリマインド送信ができ，会費納入率が上がった。
 - 4) 管理者は条件抽出して連絡可能であり，会員から要望があれば研究室単位の案内などを送信することが可能（過去に赤崎先生偲ぶ会の案内等送付）。
 - 5) メールアドレスを公表しなくても登録があれば会員間でメールの送受信が可能。
 - 6) オンライン化により問合せ対応などの事務作業が増加することが懸念されたが，事務員 1 名（週 3 日勤務）で十分対応可能な量であった。

- ・ 以上のヒアリング結果も踏まえ、アルムネット（楸イーストゲート）を候補として検討を進めたいとの提案があり、承認された。あわせて、冊子体の出力は対応していないこと（冊子体を作成するためには CSV で出力した情報をこちらで加工する必要があること）についても説明があり、その点に関しては特に意見はなかった。なお、現在も名簿を冊子体で販売しているが、希望者は毎年 5 名程度であることが補足された。
- ・ 会員システムの導入によりクレジット決済も可能になり、会費納入率の向上が見込まれる。
- ・ 名簿オンライン化にあたっては、(1) セキュリティ面については十分に確認すること、(2) 各期の名簿を幹事が年に 1 回とりまとめるという現在の形も維持してほしいこと、などの意見があった。

4. 次回役員会と第 34 回総会について (判治)

- ・ 次回役員会の候補日は 4/19(金)17:30～、4/20(土)16:30～、4/27(土)16:30～であり、できれば懇親会も行いたい。後日調整を行うので、協力いただきたい。
- ・ 第 34 回総会は次年度 6 月～7 月初旬に対面開催（オンライン併用）＋懇親会で開催予定である。その際、コロナ禍前のように輪番制（名古屋大学、名古屋市、愛知県）での総会運営を行いたいとの提案があり、承認された。なお、2024 年度は名古屋市、2025 年度は愛知県、2026 年度は名古屋大学の順番となる。

5. 鏡ヶ池会 60 周年記念事業について (大東)

- ・ 同窓会として 60 周年記念事業を行ってはどうかとの提案があった。
- ・ 鏡ヶ池会としてはしゃちの特集号くらいで、これまで周年事業を独自には行っておらず、名大土木教室の周年事業を共催、後援する形で整理している。
- ・ 議論の結果、個別に周年事業を行うのではなく、総会において 60 周年である旨を伝える対応でよいとの結論となった。なお、土木教室の同窓会は 1 期生が卒業した昭和 40 年 4 月にできたと思われ、2025 年で 60 周年となる。

以上